

阿佐谷青少年育成委員会

令和7年 10月31日

第83号

発行部数 3,500部

発行責任者 水澤 紀子

ふれあい

第53回阿佐谷盆おどり

杉一小開校150周年記念



2・3面

芝生ジャンボリー
阿佐谷盆おどり
ラジオ体操
委員研修

4面

協力・協働事業
委員会名簿
新委員紹介

第20回芝生ジャンボリー

5月17日(土)

朝からあいにくの雨となつてしまし
まい少し不安な幕開けとなりまし
たが、そんな心配も吹き飛ばすかの
ようにたくさんの子供たちが遊び
に来てくれました。杉並第七小學校
の体育館中に楽しそうな声が響き
渡つていたのがとても嬉しく思い
ます。

今年は土曜授業のない日の開催
ということで、午前10時から開会と
なりました。会長挨拶後は参加者全
員で恒例の「ジャンボリー・ミック
シー」のダンスタイム。阿佐ヶ谷中
校ボランティアスタッフ、吹奏楽部
の皆さんもお手本になつてもらい、
一体感のある空気の中、楽しく踊る
ことができました。

今年のレクリエーションタイム
は、ゴム跳び、大縄、はないちもんめ、
パン食い競争、そしてソーラー発電
(雨天のため蓄電池で対応) ポップ
コーン調理の実演の5種目。阿佐ヶ
谷中學校のボランティアスタッフ
の皆さんにもたくさん協力して
もらい、どこも大いに盛り上がりを見
せました。アートのバルーンコーナ
ーでは、かわいいお花のブレスレッ
トや、うさぎ、ダックスフンドなど
を配り、子どもたちも顔を描いたりオ
リジナルのものを作り上げていま
した。

レクリエーション後には、阿佐ヶ
谷中學校吹奏楽部の演奏を鑑賞。ア
ンコールを含め3曲を披露してく
れました。芝生ジャンボリーのテ
ーマ曲と言つても過言ではない「ジャ
ンボリー・ミッキー」の演奏もとて
も盛り上がり、生演奏を聴きながら
自然と体が動き出す子供たちもと
ても可愛らしかったです。

閉会後には、恒例のおやじの会
の焼きそば販売があり、美味しい温
かい焼きそばに大行列が出来ていま
した。雨の中でも大盛況となつた
芝生ジャンボリーでしたが、来年は
大空の下、芝生の上でまた開催でき
ることを楽しみにしております。



ラジオ体操 7月24日(水)〜7月30日(火)

杉一小会場

早起きの7日間。今年も杉並第一小
校でラジオ体操が開催されました。
早朝にもかかわらず、小さなお子さん
からご年配の方まで、多くの方に参加
いただき、誠にありがとうございました。
元気な挨拶、大きなあくび、眠そう
な顔の子供たち。
急いで駆けつけてくるご家族や、仲
まじいご夫婦の姿も見られました。
7日間、毎日素晴らしい天候に恵まれ、
気持ちの良い朝を迎えることができました。
子どもたちの安全な参加を見守つて
くださった先生方、PTAそして地域の
皆さまにも、心より感謝申し上げます。
●杉一小会場 参加人数744人
皆勤賞 幼児2名 小中学生48名
大人10名 合計60名



杉七小会場

朝の6時半でも既に暑い7日間
でしたが、連日たくさんの方にお
越しいただきました。
校庭の半分が日向、半分が日陰
になっており、皆さん、その半分の
日陰を選んで体操されていました。
幸い、体調を悪くする方もおら
ず、皆さん、気持ちよく挨拶してく
ださり、元氣よく体操してくださ
いました。
受付等でご協力いただきました
杉七小PTAの方々にも心より感
謝申し上げます。
●杉七小会場
参加人数 1092人
皆勤賞 幼児5名 小中学生56名
大人23名 合計84名



第53回阿佐谷盆おどり

6月20日(日)

阿佐谷盆おどりは、育成委員会主催の一大イベ
ントです。地域に開かれた盆おどりにお越し頂く夏の
風物詩です。第53回の盆おどりと杉一小開校150
周年に当たる年、お祝いの冠を付けたものにした
おやじの会「すげいち会」にも一役かつてもらいま
した。もちろん育成会からも光るうちわとお祝い菓
子を用意させていただきました。

私の子どもの頃の盆踊りを振り返れば、思い出深
く鮮明に思い出せるほどの経験をしました。お風呂上
りの石鹸の香り、成長と共に新調してくれたい幾つ
かりの浴衣、夜の賑やかさとたくさんの方の行き来、灯
りついた提灯、露店の食べ物、友達との時間、楽しい
た帰り道など、あの光景は、一生物です。映画のよ
うにタイムスリップしたいくらいです。ですから大
人になつても忘れられないくらい楽しんでもらいた
いと思うのです。今は楽しいかな、楽しそうにして
いるかなと会場の子どもたちを眺めています。

さて、本番で一番気にしている事は天気です。関
係者、大勢の動員をかけている為、責任は重大であり、
不確定な天気予報が苦渋となるのが3日前、カンカン
照りが続いたにもかかわらず、なぜか週末に曇りと小
さい傘マーク、誰もが心配するところ。準備には
3カ月ほどかけて本番を迎えます。水の泡にはした
ないのが本音、今まで1回も中止したことがないの
です。校庭は全て祭りと化し関係者に決行を決めたのは
5時間前でした。とにかく小中学生のボランティアも
集合!!やるしかない意気込みを委員と共有、頼もしい
仲間であると感じました。

ご来賓に町会の皆さまを始め、区長岸田聡子様、
教育長渋谷正宏様、会場校長山口祐美子様には、開
催にあたりお祝いの言葉を頂きました。会場からた
くさんの拍手がわき、報われる瞬間でした。終盤に
副区長白垣学様もお越しください有り難い限りでし
た。夜空は雨雲レーダーの通り20分間の小休止をし
たものの再開し、すげいち会の屋台は5つ、ラムネ
スーせんべい、千本引き、くじ、スーパードール
すくい全て完売、最後の曲は、「阿佐谷音頭」で終了
しました。今回の杉一小150周年開校記念に冠を
付けた阿佐谷盆おどり、皆様のご理解とご協力によ
り開催できました事に感謝いたします。気を揉みま
したが無事に開催でき本当に良かったと思います。

そしてこの度、町会の賛助金にて提灯を新調しま
した。2年前と合わせて100個になり本部に向け
て綺麗な「阿佐谷盆おどり」赤、青、黄、ピンク、
緑の5色が会場を照らしとても綺麗でした。一つ一
つ手書きの力強い書体には、繁栄の意味が込められ
ており、とても気に入っております。提灯は、杉一
杉七、馬橋小の2年生に書いてもらった半紙絵を貼っ
てあります。毎年同じものではない唯一無二のもの
です。自分の描いた絵を見つけては喜んでるよう
でした。優しく灯る提灯は阿佐谷盆おどりの名物、
大切にしていきたいと思えます。また来年、阿佐谷
盆おどりでお逢いいたしましょう。



『すべての子どもたちの「居場所」となる地域に』

8月23日(土) 阿佐谷地域区民センター

五十嵐匠監督の「時代遅れの最先端」風の谷幼稚園の子どもたち」を上映
いたしました。
川崎の雑木林に囲まれた丘にある四季の移り変わりを肌で感じることで
る幼稚園。そこでは英才的な早期教育は一切行いません。子どもが子どもと
して子どもらしい時代を過ごせる自然豊かな時間が流れています。

また、人間としての誇りをもつてしっかりと生きていけるよう、そんな力を
幼児期に育む(人間の格)教育がなされています。

「体」と遊ぶ、手を使う、いっぱい歩く、親も一緒に」を理念に掲げる幼稚園
の1年間の追ったドキュメンタリー映画です。

今回、60名近くの方に観ていただいて、多くの素晴らしい感想を寄せていた
できました。

〈一部抜粋〉

・自然の中で自立を伸ばす園の方針。実年齢よりもずっとしっかりしている
ようにみえる子供らの姿が印象的でした(40代)

・体と頭を使ってたくましく育っている子どもたち!!人間が成長していくう
えでの基本的な経験をつみ重ねていくことが大切だと感じた。この土台を大
切にしていきたいですね(50代)

鑑賞に来た方々からたくさん感動のお言葉を頂きました。これから子ども
もの居場所とは何かを探りながら地域の皆さんと共有し、子どもたちとの関
わりを続けて行きたいと思えます。



協力・協働事業

阿佐谷地域区民センター 子どもフェスティバル

9月28日(日)



阿佐谷地域区民センターにおいて、子どもフェスティバルが開催されました。
委員延べ17名で、午前中は一階にブースを設置し、お花のプレスレット、ブドウ、新作の肉球など沢山製作し、来場した多くの子どもたちに配りました。
午後は初の試みで、大を作るバルーン教室を開催しました。会場では、空気をいれる場所と、作る場所、顔を仕上げてもらう場所と分け、なるべく待ち時間を少なくし、次から次へと作れるよう工夫したこともあり、150人以上の親子参加者がいらっしやいました。
怒涛の時間でしたが、教える委員も終了後やりきった感がありました。
午前、午後と延べ800本ほどのバルーンを使って、イベントを盛り上げました！



新委員紹介

杉並区立杉森中学校 校長 斎藤 耕一郎



令和7年度、杉森中学校 校長に就任しました斎藤耕一郎と申します。地域にとって誇りとなる生徒を育成するために、地域・保護者・教職員の三者がそれぞれの役割を発揮させながら共に協働して生徒を育成させていきたいと考えています。将来、多くの世代の人々のあいだで、関わり合いを増やし一緒に発展させていくことを将来に向けて創造できることを期待しています。
多岐にわたる本校のために教育活動にご支援いただけてなく、杉森生が地域に恩返しをし、貢献できる心を育てていく傾向が、卒業してしまおうとしても地域行事等の参加が遠のく傾向があり、卒業しても地元で貢献できる人材として戻ってきて活躍してくれると皆さんにとってもうれしいと思います。
地域の皆様と生徒と一緒に活動をする体験をとおして、互いに顔見知りの関係となり、人とのつながりが強くなります。このつながりから、また次の新しい活動も生まれてきます。私も阿佐谷青少年育成委員会の皆さまと顔見知りとなつて、私のことも覚えていただきます。杉森中学校が、地域と連携して地域活動に参加させていただけるよう、私自身がお世話になっていくと思っています。今後ともご指導よろしく願っています。

杉並区立杉並第七小学校 校長 井口 修



令和7年4月に、杉並第七小学校の校長に就任いたしました、井口修(いぐち しゅう)と申します。阿佐谷青少年育成委員の皆さまには、日頃より地域の子どものためにご尽力いただき、心より感謝申し上げます。
「芝生ジャンボリー」では、子どもたちが夢中になって楽しんでいました。「ジャンボリー・ミッキー」を会場の全員で踊った熱気も忘れられません。「ラジオ体操」では、元気の挨拶が交わされ、大人の方もたくさん参加されていて驚きました。私は、苦手な第2体操を来年までにマスターしています。「阿佐谷盆おどり」では、幅広い世代の全員が、それぞれのよさで踊っていることが印象的でした。テンポの速い踊りを、私もマスターしたいです。
阿佐谷に着任してから、人と人との絆を感じることが多いです。それは、人と人をつなぐ地域行事が今も残っているからではないでしょうか。その地域行事は、水澤会長をはじめ、阿佐谷青少年育成委員の皆さまが、奮闘し続けているからです。行事後、子どもたちが「ああ楽しかった。来年も楽しみ！」と言っています。この子たちがやがて大人になった時、楽しかった記憶が原動力となり、行事を支える役割を担っていくのだらうな、と感じます。次の世代を育てるため、私も全力を尽くします。

感謝

阿佐谷青少年育成委員会 副会長 石田阿以子さんが令和7年9月27日に
お亡くなりになりました
長年のご尽力に深く感謝いたしますと共に ご冥福を心よりお祈り申し上げます



令和7年度 杉並区阿佐谷青少年育成委員会名簿

役名	職名(出身母体)	氏名	役名	職名(出身母体)	氏名
会長	地域協力者	水澤 紀子	委員	地域協力者	グデラ 亜沙子
副会長	地域協力者	石田 阿以子		地域協力者	中島 悠太
	民生児童委員	近藤 澄		阿佐ヶ谷中 PTA	井口 嘉代
会計	青少年委員・地域協力者	諸橋 記子		阿佐ヶ谷中 PTA	三宅 真琴
	町会	玉田 憲江		杉森中 PTA 副会長	眞方 寛
庶務	地域協力者	中島 愛		杉並第七小 PTA	金子 香織
	地域協力者	坪田 美奈子		杉並第七小 PTA	井村 花奈実
監事	地域協力者	池田 賢司	学 校 長	阿佐ヶ谷中 校長	齋藤 健一
	地域協力者	渡辺 光貴	学 校 副 長	阿佐ヶ谷中 副校長	黒崎 芳雄
常任委員	保護司会	島田 昭仁	学 校 生活指導主任	阿佐ヶ谷中 生活指導主任	鍋倉 弘輝
	町会	國保 厚子	学 校 校 長	杉森中 校長	齋藤 耕一郎
	地域協力者	川瀬 恭代	学 校 副 長	杉森中 副校長	濱田 真美
委員	町会	佐藤 文夫	学 校 生活指導主任	杉森中 生活指導主任	大内 規敬
	町会	本名 隆	学 校 校 長	杉並第一小 校長	山口 祐美子
	町会	広田 君江	学 校 副 長	杉並第一小 副校長	小島 昭博
	民生児童委員	比嘉 芳子	学 校 副 長	杉並第一小 副校長	杉田 英昭
	保護司会	大島 公子	学 校 生活指導主任	杉並第一小 生活指導主任	稲葉 八重子
	商店会	松本 常良	学 校 校 長	杉並第七小 校長	井口 修
	地域協力者	内岩 恒忠	学 校 副 長	杉並第七小 副校長	半田 勝
	地域協力者	和田 奈々子	学 校 生活指導主任	杉並第七小 生活指導主任	今泉 真里恵
	地域協力者	曾田 佐希	学 校 校 長	馬橋小 校長	小澤 伸生
	地域協力者	石井 祐子	学 校 副 長	馬橋小 副校長	志賀 健人
	地域協力者	坂本 裕子	学 校 生活指導主任	馬橋小 生活指導主任	松葉 教晃
	地域協力者	中村 ひろみ	学 校 校 長	阿佐谷児童館 館長	中西 弘記
	地域協力者	星野 さち子	学 校 校 長	阿佐谷地域区民センター (地域活動係)	西山 和佳
	地域協力者	柴田 真光			袖木 俊昭